



# 平成30年度 地域別海外誘客プロモーション計画

---



台 湾



# 目次

- 台湾基礎データ(P2)
- 訪日台湾人観光客の推移(P3)
- 訪沖台湾人観光客の推移(P4)
- 訪沖外国人観光客について-台湾市場(P5-10)
- 月別入域観光客数の推移(P11)
- 台湾人観光客の旅行シーズン(P12)
- 空路定期就航状況(P13)
- 訪沖台湾人観光客の推移(空路海路別)(P14)
- 平成30年度台湾人観光客 来沖観光客誘致目標数(P15)
- 平成30年度台湾市場プロモーションの方向性(P16)
- 平成30年度台湾市場プロモーション計画(P17)

# 台湾の基礎データ



人 口	23,490,000人
面 積	36,010km <sup>2</sup> (日本の九州の98%弱の面積)
首 都	台北市
通 貨	台湾元 (NTD)
言 語	中国語
1人当たりのGDP	22,288USドル (2015年)
年間出国者数	13,180,000人 (2015年)



※データ出展：日本政府観光局 (JNTO) WEBサイトより

北台湾 (台北・新北・基隆・宜蘭・桃園・新竹)	約1,023万人
中台湾 (台中・彰化・南投・苗栗・雲林)	約581万人
南台湾 (台南・嘉義・高雄・屏東・澎湖)	約640万人
東台湾 (花蓮・台東)	約55万人

# 訪日台湾人観光客の推移

暦年データ	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
人数(人)	993,974	1,466,700	2,210,821	2,829,800	3,677,075	4,167,504	4,564,053
構成比(%)	16	17.5	21.3	21.1	18.6	17.3	15.9
伸率(%)	-21.6	47.6	50.8	28	29.9	13.3	9.5

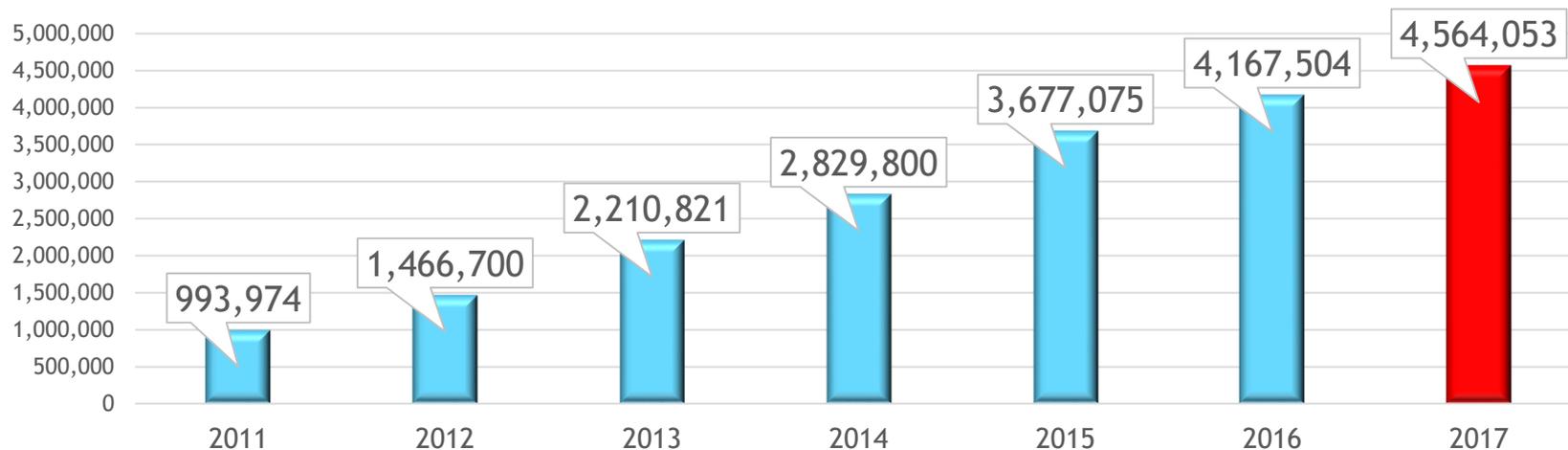


※2017年(暦年)訪日外国人客数:4,564,053人

※構成比とは、訪日外国人観光客数全体に占める割合

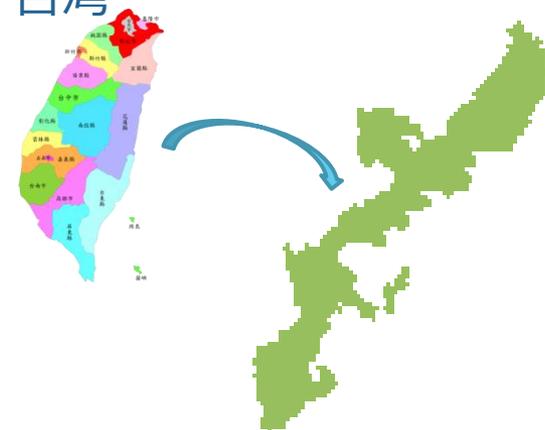
※単位：人

訪日台湾人観光客の推移



# 訪沖台湾人観光客の推移

台湾



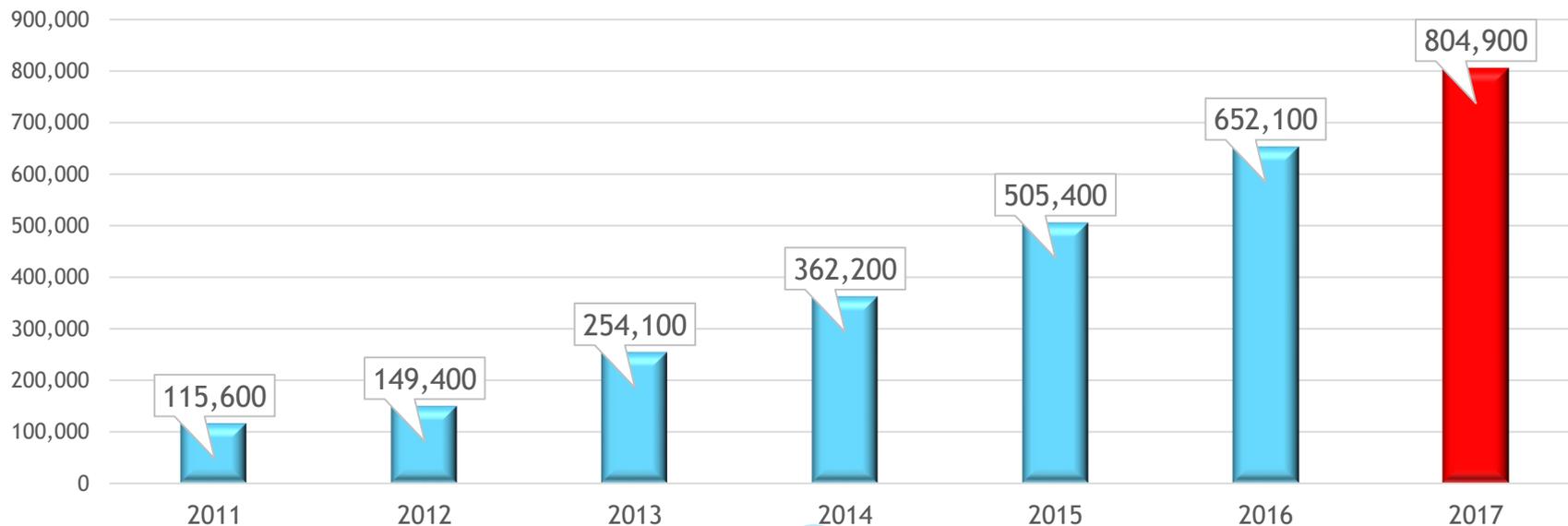
年度データ	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
人数(人)	115,600	149,400	254,100	362,200	505,400	652,100	804,900
構成比(%)	40.4	39	40.5	36.7	30.3	30.6	29.8
伸率(%)	-5.2	29.2	70.1	42.5	39.5	29	24.7
訪沖/訪日(%)	11.6	10.1	11.5	12.8	13.7	15.6	17.6

※2017年度 訪沖外国人客数:2,692,000人

※構成比とは、訪日外国人観光客数全体に占める割合

※訪沖(年度)/訪日(暦年)

※単位：人



# 訪沖外国人観光客について(台湾市場)

## 1 性別構成比



## 2 年代別構成比



女性の割合が高め  
女子旅や離島旅の発信

プロモーション  
方向性

昨年度：消費力のある30代後半～40代誘致  
40代50代の人数増加  
今後は年代に合わせた  
プロモーション展開

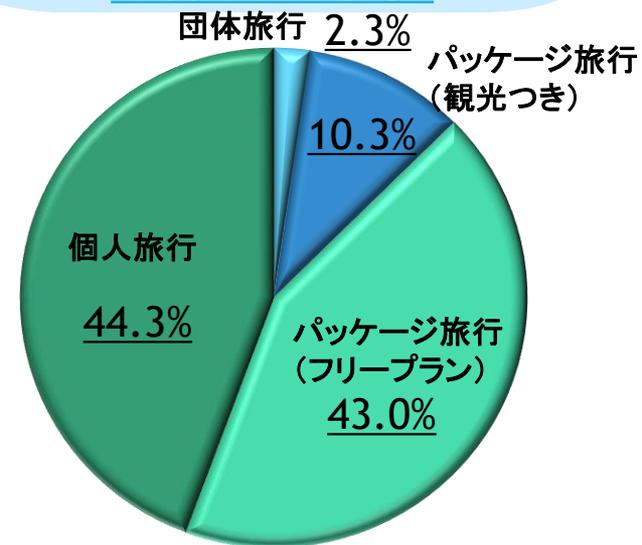
※出典：平成28年度外国人観光客実態調査報告書

# 訪沖外国人観光客について(台湾市場)

## 3 訪日旅行経験 (%)



## 4 旅行形態 (%)



## 5 訪沖旅行経験 (%)

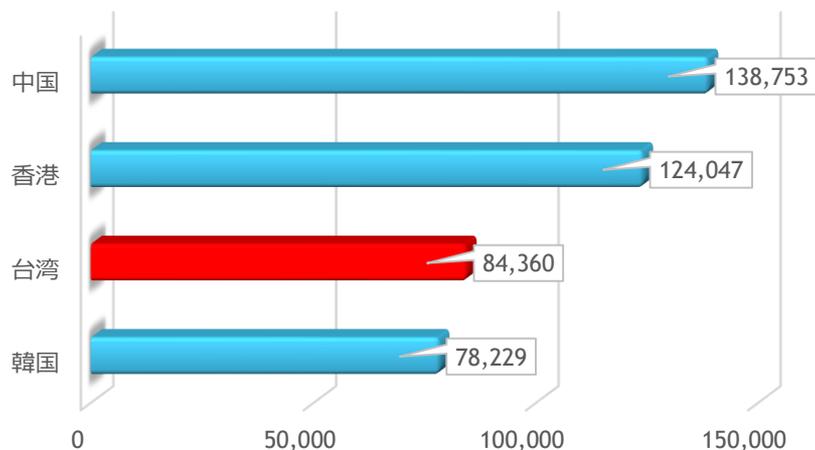


フリープラン・個人旅行で87%  
訪日旅行の経験者は年々増加  
訪沖旅行の経験者は横ばい  
↓  
初めてでも個人旅行の傾向  
訪沖リピーターに課題

※出典：平成28年度外国人観光客実態調査報告書

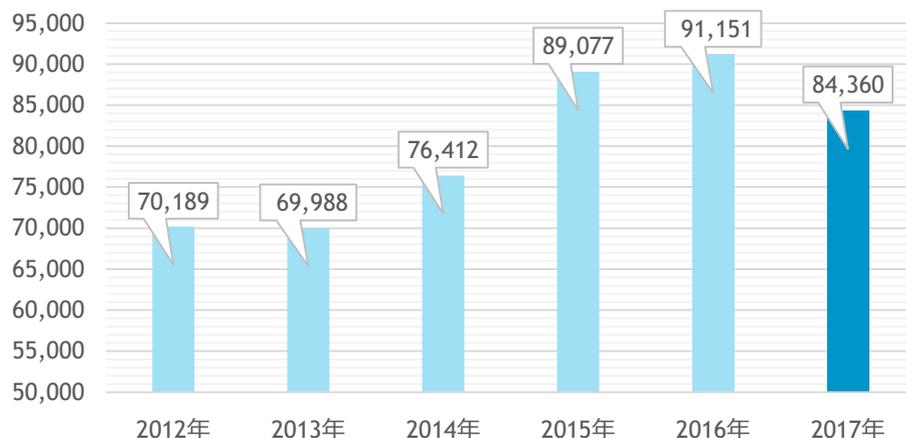
# 訪沖外国人観光客について(台湾市場)

## 6 平成28年度 海外重点市場 県内平均消費額



## 7 県内平均消費額の推移 (台湾)

台湾人観光客県内消費額 (単位：円)



### 県内平均消費額・宿泊数

地域	平均消費額	平均宿泊数
韓国	78,229	3.12
台湾	84,360	3.65
香港	124,047	4.28
中国	138,753	3.98

### 国内平均消費額・宿泊数

地域	平均消費額	平均宿泊数
韓国	71,795	3.2
台湾	125,847	5.2
香港	153,055	5.6
中国	230,382	6.1

平均消費額÷平均宿泊数  
でみると国内平均  
との差は△1,089と大き  
な差はない。



日数を延ばす  
プロモーション

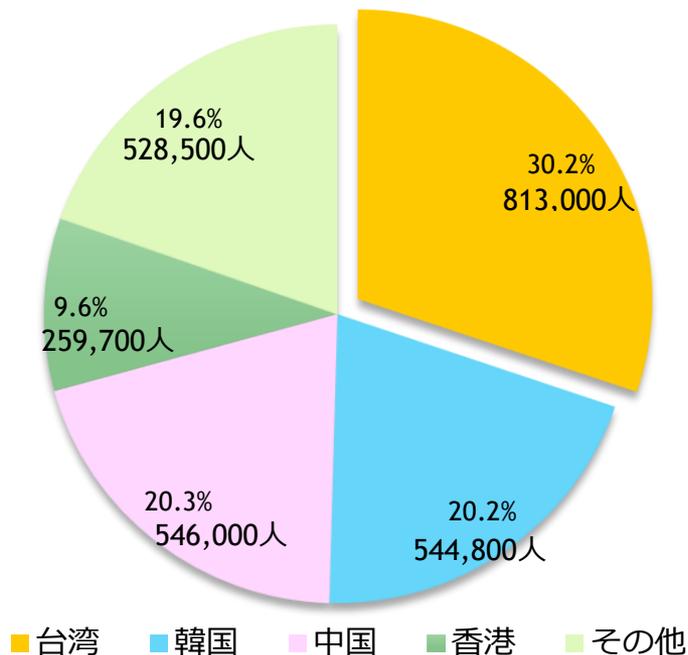
※出典：平成28年度外国人観光客実態調査報告書

※観光庁データ

# 訪沖外国人観光客について(台湾市場)

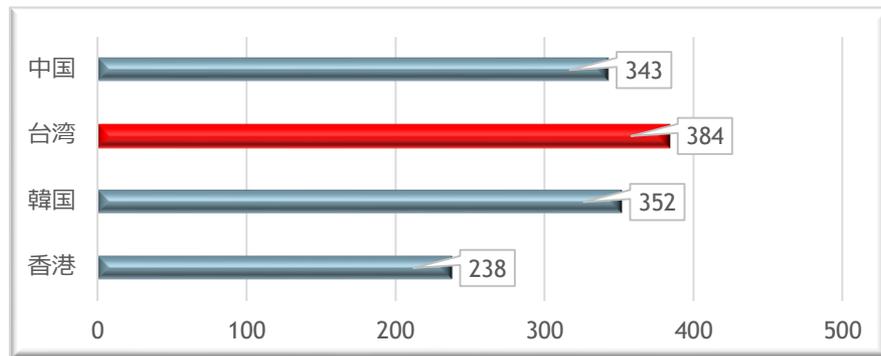
8

## 平成29年度 外国人観光客入域客数



**合計 : 2,692,000人**

<H28年度 観光収入額 (単位:億円)>

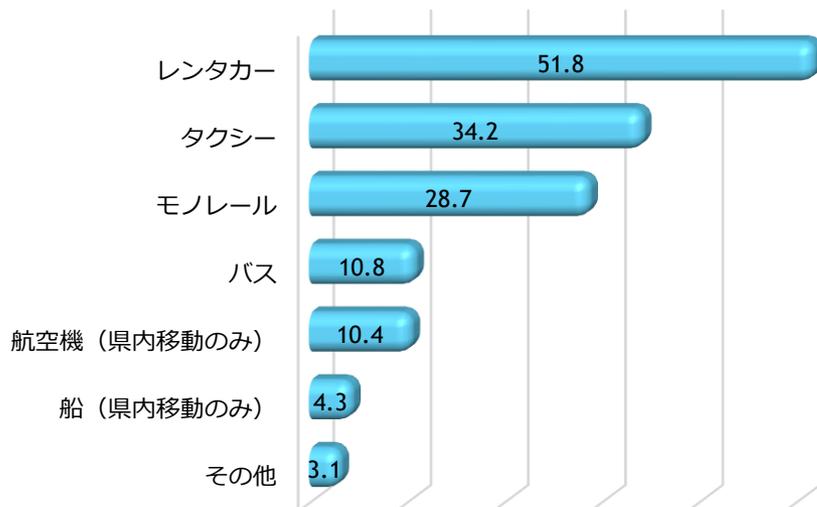


人数割合で30%を超えるため、平均消費額の増加は県の観光収入額に大きく影響する。

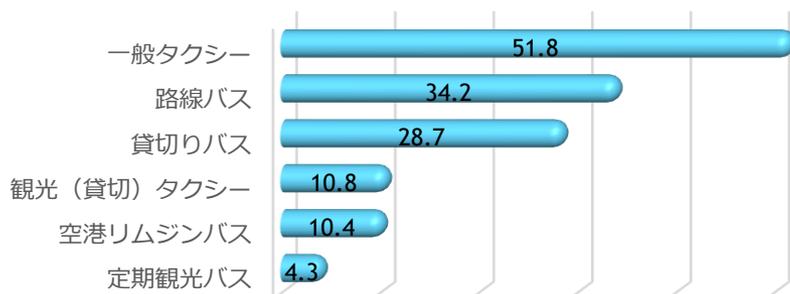
※観光収入は人数×消費単価で計算されるが、H29年度の消費単価は未発表。H28年度で計算しても昨年度の収入額を大きく上回る予測。

# 訪沖外国人観光客について(台湾市場)

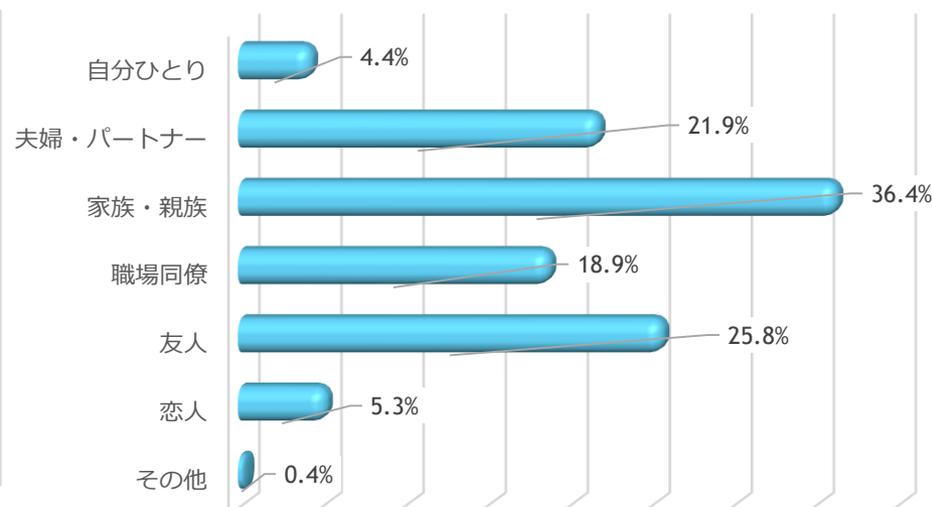
## 10 交通手段 (%)



## バス・タクシー内訳 (%)



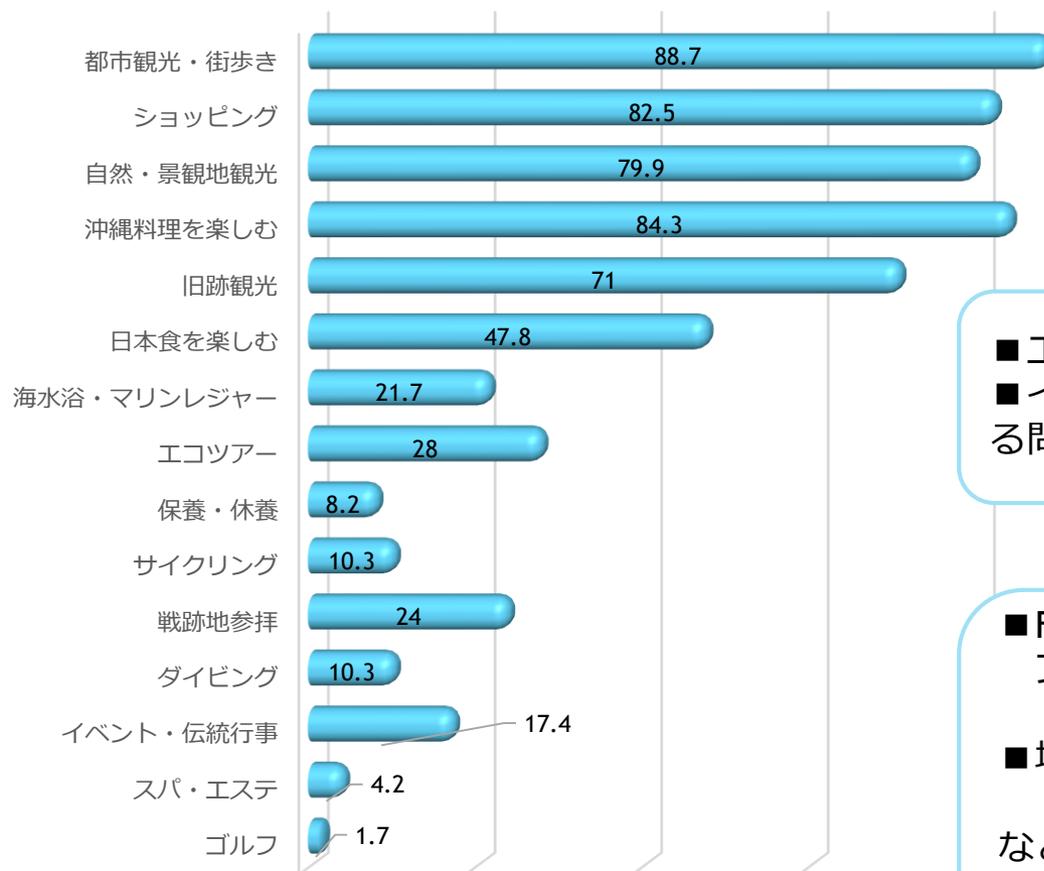
## 11 同行者 (%)



- 貸切バスや貸切タクシーの稼働が高い時期には、FITやSIT向けプロモーションの強化
- メインターゲットに関係する周りの人々を関係性別 (家族・友人・恋人など) に分類したプロモーションの展開

# 訪沖外国人観光客について(台湾市場)

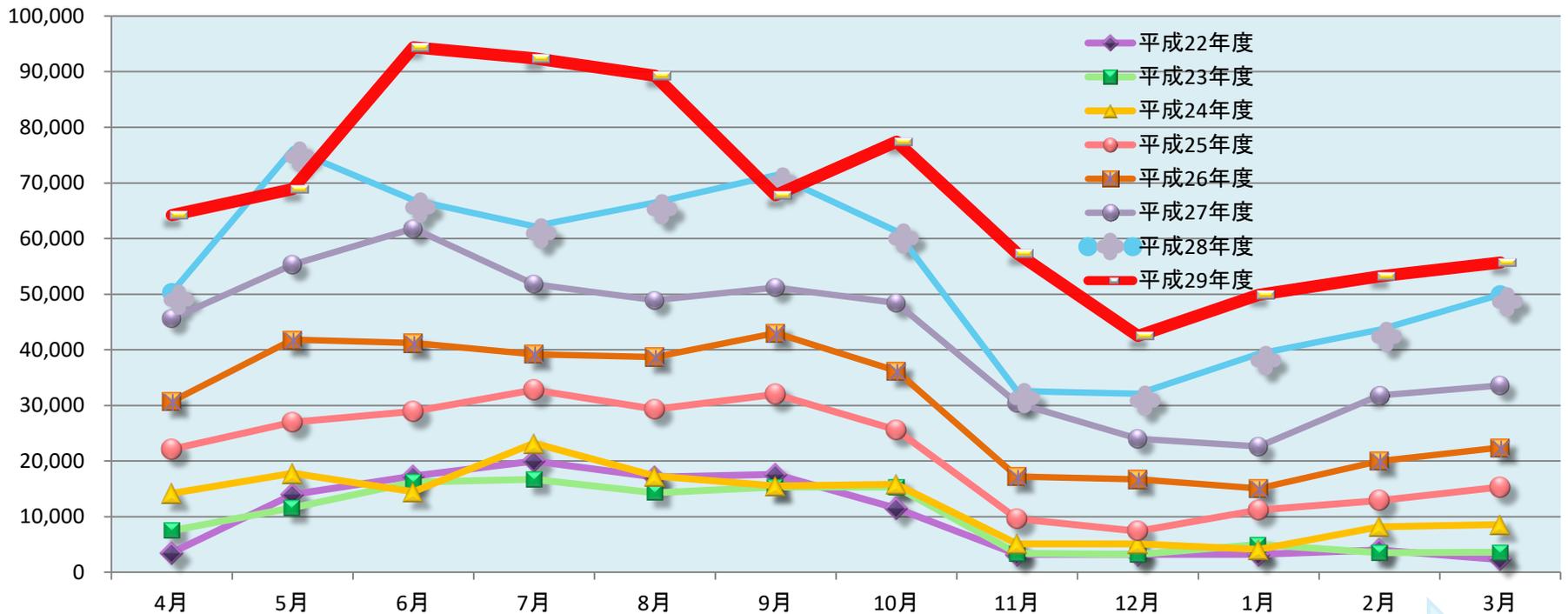
## 12 台湾観光客が行った活動



■ エコツアーや戦跡参拝が伸び始めている。  
■ イベントも増加中、地域のまつりに関する問い合わせも増えている。

■ FITをターゲットにした、沖縄のディープローカルタウンへの誘導  
(沖縄市・金武町・読谷村 など)  
■ 地域連携プロモーションの強化  
(各離島・本島北部・読谷村・南城市 など)  
■ 新しい観光スタイル (民泊・体験物) や美容関係のプロモーション導入

# 月別入域観光客数の推移(H22~H29)



11月以降がボトム期

↓継続的な課題↓

冬季の需要拡大

- ・ウエディング、スポーツ、ナイトイベント等テーマを目的にした訪沖の強化
- ・ラグジュアリー層へのアプローチ
- ・女子旅、離島旅、季節に合わせたプロモーション等、国内プロモーションと同様のコンテンツの浸透強化

# 台湾人観光客旅行シーズン

## 2018年祝祭日（3連休以上のみ）

休日	日数	期間
元旦	3日	2017/12/30-1/1
春節	6日	2/15-2/20
清明節	5日	4/4-4/8
労働節	3日	4/29-5/1
端午節	3日	6/16-6/18
中秋節	3日	9/22-9/24
元旦	3日	12/29-2019/1/1

## 旅行のピークとボトム

### 2つの山

- 中秋節
- 春節

### 2つの谷

- 中秋節後
- 春節後

※暦年のデータによるピークとボトム期間も同様

## 7月～8月

教育機関が休みとなるこの時期  
は学生や親子による旅のシーズン

※出典：台湾貿易センターサイトを基に作成

# 空路定期就航状況

就航都市	航空会社名	機材	提供座席数	便数	就航曜日	就航日	備考
台北(桃園) -那覇	中華航空 (CI) (チャイナエアライン)	B747-400	375	週7便	デイリー	1980/2/22	◆需要に応じて機材変更
		A333	313	週7便	デイリー		
	Peach Aviation (MM)	A320-200	180	週7便	デイリー	2013/9/20	◆那覇空港貨物ターミナル利用
		A320-200	180	週7便	デイリー		
	長榮航空 (BR) (エバー航空)	A321	184	週7便	デイリー	2014/6/17	◆2017冬7便→2018夏14便へ(7便増)
		A321	184	週7便	デイリー		
	タイガーエア台湾 (IT)	A320-200	180	週7便	デイリー	2015/6/29	◆LCC航空会社ではあるが、国際線ターミナルビル利用
		A320-200	180	週7便	デイリー		
	バニラ・エア (JW)	A320-214	180	週7便	デイリー	2016/9/14	◆2017冬 → 2018夏 ±0
台中 -那覇	華信航空 (AE) (マンダリン航空)	ERJ190	104	週4便	月・水・木・土	2012/6/30	◆2017冬2便→2018夏4便(+2便) 6/14以降→1便増(計5便)
高雄 -那覇	中華航空 (CI) (チャイナエアライン)	B737-800	158	週4便	月・水・木・土	2015/10/27	◆2017冬2便→2018夏4便(+2便) 6/14以降→1便増(計5便)
	タイガーエア台湾 (IT)	A320-200	180	週7便	デイリー	2017/3/4	◆2017冬2便→2018夏7便(+5便)
	Peach Aviation (MM)	A320-200	180	週7便	デイリー	2018/4/26	※2018/1/24 プレスリリース
台北(桃園) -石垣	中華航空 (CI) (チャイナエアライン)	B737-800	158	週2便	水・土	2014/8/2	◆ 2018年サマースケジュールより運行再開

台北-那覇:週63便 / 台中-那覇:週4便 / 高雄-那覇:週18便 / 台北-石垣:週2便  
計:週87便

(※H30.5月 現在データ)

## 平成29年度 空路実績

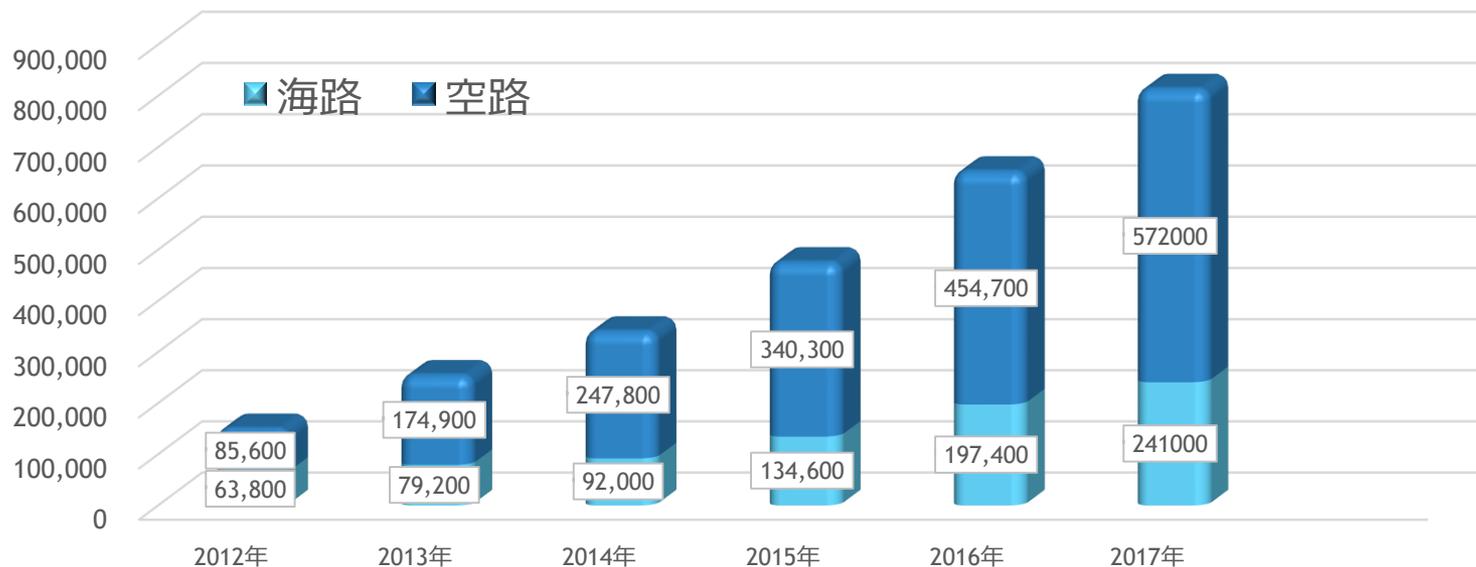
1 年間平均搭乗率: 85.1%

2 年間座席提供数: 762,547人

3 年間搭乗者数: 648,884人

(※H29.4.24 現在データ)

# 訪沖台湾人観光客の推移(空路海路別)



※出典：沖縄県発表入域観光客数データを基に作成



目標に向けて

定期便の搭乗率最大化

離島への定期便新規就航及び  
定着化

ボトム期搭乗率向上（平準化）

高雄・台中路線の安定化

# 平成30年度台湾人観光客 来沖観光客誘致目標数

H29

実績：804,900人

H30

目標：982,900人

空路：669,000人

海路：313,900人

一般観光客

目標：471,000人

離島への誘導、  
女子旅、体験  
等のテーマを  
意識した誘客

加えて文化や  
歴史をテーマ  
としたプロ  
モーションも  
展開する。

Activity

目標：186,000人

沖縄本島/離島  
で実施される  
スポーツイベ  
ントへの誘客

- ・マラソン
- ・サイクリング
- ・ヨガ
- ・ダイビング

RW関連

目標：12,000人

目標成約数に平  
均列席人数をか  
けた数。  
600組×22人  
その他、  
・プロポーズ  
・アニバーサ  
リー関連プロ  
モーション強化  
(アニバーサ  
リーチームと  
の連携)

クルーズ利用

港湾都市高雄を中心に、  
クルーズ船の利用も促  
進。

# 平成30年度台湾市場プロモーションの方向性

## 1 プロモーションテーマ設定



女子旅

体験コンテンツ

スポーツ・ウエディング

## 2 平準化と質の向上

離島・本島北部誘客

ボトム期の底上げ



ブランディング化の推進

プロモーションの転換



高付加価値・高単価商品  
への誘導

## 3 物産との連携

物産ともあわせた  
旅のPR



美食

美容・コスメ

# 平成30年度 台湾市場 プロモーション計画

## 旅行博

## セミナー商談会 ・イベント

## 通年事業

夏向け

- ・ 高雄KTF(4/20-23)
- ・ 台中ATTA(5/25-28)

- ・ JNTO教育旅行説明会

- ・ SNS情報発信
- ・ Facebook
- ・ TripAdvisor
- ・ その他
- ・ 離島、女子旅需要喚起プロモーション
- ・ 高付加価値・高単価旅行商品造成促進
- ・ 新規就航路線告知プロモーション

秋向け

- ・ 沖縄ナイトin台湾
- ・ セミナ/商談会@台湾(一般観光・MICE・教育旅行)

冬向け

- ・ 台北ITF(11/27-30)

- ・ ウエディング個別販売会
- ・ 田中マラソンブース出展

春向け

- ・ 高雄マラソンブース出展